



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社ビーグリー 上場取引所 東
 コード番号 3981 URL https://www.beagle.com
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 吉田 仁平
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員経営管理本部長（氏名） 三吉 達治（TEL） 03-6706-4000
 半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	9,467	0.4	872	19.0	845	19.8	441	29.5
2023年12月期中間期	9,427	1.3	733	△28.5	705	△26.5	340	△18.9

（注）包括利益 2024年12月期中間期 441百万円（29.5%） 2023年12月期中間期 340百万円（△18.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	73.17	72.91
2023年12月期中間期	56.79	56.45

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	18,168	7,310	40.2
2023年12月期	18,384	6,953	37.8

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 7,309百万円 2023年12月期 6,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年12月期	—	0.00			
2024年12月期（予想）			—	17.00	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当社の剰余金の配当は期末配当の年1回を基本方針としております。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,118	5.4	1,846	23.4	1,804	25.3	925	34.3	153.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P10「(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2024年12月期中間期	6,263,986株	2023年12月期	6,263,986株
2024年12月期中間期	230,173株	2023年12月期	234,706株
2024年12月期中間期	6,030,924株	2023年12月期中間期	6,000,495株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における日本経済は、社会経済活動の正常化が進み、企業活動や個人消費に持ち直しの動きがみられる等、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方で、緊迫した世界情勢に加え、不安定な円相場やインフレによる経済停滞が懸念され、依然として不透明な事業環境が続いております。

当社を取り巻く事業環境は、紙の出版市場が縮小している一方で、電子出版市場は継続的に拡大しており、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2024」によると、2024年度の成長率は5%程度になると予測されており、今後も電子書籍及び電子コミックの市場規模は緩やかな拡大が続くことが予想されております。

このような市場環境の中で、プラットフォームセグメントにおいては、コミック配信サービス「まんが王国」のブランド構築に注力しつつ効率的な投資を、コンテンツセグメントにおいては、継続的なデジタル成長による安定的な利益創出を実行いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は9,467,721千円(前中間連結会計期間比0.4%増)、営業利益は872,270千円(前中間連結会計期間比19.0%増)、経常利益は845,322千円(前中間連結会計期間比19.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は441,276千円(前中間連結会計期間比29.5%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(プラットフォームセグメント)

プラットフォームセグメントの主力サービスであるコミック配信サービス「まんが王国」においては、ユーザーの訪問・定着・課金の流れを促し、課金者数と顧客単価を上げるべく、お得感を訴求するキャンペーンや幅広いユーザー層獲得のための販売促進活動を積極的に行いました。課金意欲が高いユーザーへの訴求が奏功した一方で、ライトユーザーの定着・育成に一定の時間を要す状況が続きました。その結果、「まんが王国」の売上高は前中間連結会計期間比1.7%減となりました。

また、2023年6月に提供を開始した北米向けコミック配信サービス「yomoyo(ヨモヨ)」においては、コンテンツの許諾交渉を推進いたしました。

総合エンターテインメント事業を展開する株式会社アミューズとの協業においては、2023年7月から10月に開催した『目指せメディアミックス!「現代恋愛×ファンタジー」小説コンテスト』の結果を発表し、受賞作品のコミカライズを推進いたしました。また、2024年3月には、音楽と漫画を融合させた次世代コンテンツを生み出すクロスメディアプロジェクト「Project CO-MUSIX」を立ち上げ、第1弾となるオムニバス作品を「まんが王国」ほか、動画プラットフォームやSNS等で展開いたしました。

利益面においては、売上高が前期並みとなった一方で、広告宣伝費を中心とした営業費用が前中間連結会計期間比で減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は6,118,773千円(前中間連結会計期間比1.4%減)、営業利益は274,335千円(前中間連結会計期間比13.6%増)となりました。

(コンテンツセグメント)

コンテンツセグメントにおいては、デジタルコンテンツを中心に、発刊点数の増加、電子書店ごとの特性や読者ニーズに沿った販売促進活動を積極的に行いました。また、紙出版においては、紙出版市場の縮小を鑑み、配本部数の管理及び価格設定等のコストコントロールを実施いたしました。

デジタル出版においては、読者の嗜好性に合わせたコンテンツの創出とジャンルの拡大を推進し、SNSや動画プラットフォームを活用したプロモーションを強化した結果、ぶんか社が得意とするBL、TLジャンルを中心とした女性向けコミックジャンルの作品や近年創刊したデジタルコミック誌からの作品の売上が堅調に推移いたしました。これにより、売上高は前中間連結会計期間比12.9%増となりました。また、新たな取り組みとして、2024年4月にライトBLレーベル「GUSHgem」を創刊いたしました。

紙出版においては、配本部数のコントロール及び雑誌の隔月化や休刊を実施した結果、売上高は前中間連結会計期間比11.4%減となりました。

このほか、2024年1月にはぶんか社と海王社から2作品がテレビドラマ化し、『消せない「私」～炎上しつづけるデジタルタトゥー～』が日本テレビにて放送、「好きやねんけどどうやろか」が読売テレビにて放送されました。また、2024年2月から累計発行部数21万部を超える人気BL作品「パーフェクトプロポーズ」を原作としたドラマがフジテレビ公式動画配信サービス「FOD」で配信され、2024年7月には「三ツ矢先生の計画的な餌付け。」がMBS毎日放送にて放送されました。

利益面においては、紙出版収益が減少したものの、デジタル出版収益が前中間連結会計期間比で増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は3,445,523千円(前中間連結会計期間比4.7%増)、営業利益は597,634千円(前中間連結会計期間比21.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は18,168,446千円となり、前連結会計年度末に比べ216,511千円減少しました。

流動資産は9,190,068千円となり、前連結会計年度末に比べ180,871千円増加しました。これは主に、現金及び預金が310,458千円増加した一方で、売掛金が97,453千円減少したことによるものです。

固定資産は8,978,378千円となり、前連結会計年度末に比べ397,383千円減少しました。これは主に、無形固定資産が397,848千円減少したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は10,858,303千円となり、前連結会計年度末に比べ573,412千円減少しました。

流動負債は8,430,311千円となり、前連結会計年度末に比べ36,193千円減少しました。これは主に、未払消費税等が87,616千円増加した一方で、返金負債が59,478千円、その他が55,467千円減少したことによるものです。

固定負債は2,427,991千円となり、前連結会計年度末に比べ537,218千円減少しました。これは主に、長期借入金金が510,000千円減少したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は7,310,142千円となり、前連結会計年度末に比べ356,900千円増加しました。これは主に、利益剰余金が349,272千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、40.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は5,135,956千円となり、前連結会計年度末に比べ310,458千円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動においては、税金等調整前中間純利益845,322千円から、主な加算項目として、減価償却費200,250千円、のれん償却額295,324千円、売上債権の減少額94,867千円、未払又は未収消費税等の増減額87,616千円等がありました。これに対して主な減算項目として、返金負債の減少額59,478千円、その他の減少額45,271千円、法人税等の支払額378,449千円等がありました。

この結果、獲得した資金は1,004,001千円(前中間連結会計期間は490,279千円の獲得)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動においては、主な資金減少要因として、無形固定資産の取得による支出82,367千円等がありました。

この結果、使用した資金は90,606千円(前中間連結会計期間は83,016千円の使用)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動においては、主な資金減少要因として、長期借入金の返済による支出510,000千円、配当金の支払額90,318千円等がありました。

この結果、使用した資金は602,936千円(前中間連結会計期間は578,080千円の使用)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日の「2023年12月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,825,497	5,135,956
受取手形	30,745	33,331
売掛金	4,001,549	3,904,096
商品及び製品	58,552	55,037
貯蔵品	623	546
前渡金	8,097	30,440
前払費用	67,510	36,876
未収入金	7,853	1,507
未収還付法人税等	4,839	0
未収消費税等	10,565	—
その他	1,091	361
貸倒引当金	△7,729	△8,086
流動資産合計	9,009,196	9,190,068
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,662	14,662
建物附属設備	75,012	75,258
工具、器具及び備品	147,433	154,816
減価償却累計額	△168,060	△176,874
減損損失累計額	△1,602	△1,602
有形固定資産合計	67,444	66,259
無形固定資産		
のれん	8,328,371	8,033,046
ソフトウェア	127,602	114,765
コンテンツ資産	248,578	230,123
ソフトウェア仮勘定	639	7,472
コンテンツ資産仮勘定	3,370	3,997
著作権	432,666	354,000
その他	1,232	1,207
無形固定資産合計	9,142,462	8,744,613
投資その他の資産		
敷金及び保証金	108,492	108,492
繰延税金資産	37,380	37,380
その他	19,981	21,631
投資その他の資産合計	165,854	167,504
固定資産合計	9,375,761	8,978,378
資産合計	18,384,958	18,168,446

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,437,019	3,412,709
短期借入金	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,020,000	1,020,000
未払金	394,325	384,270
未払費用	35,367	44,168
未払法人税等	426,812	449,374
未払消費税等	27,328	114,945
契約負債	592,763	586,585
返金負債	366,313	306,834
預り金	39,295	39,610
その他	127,279	71,811
流動負債合計	8,466,504	8,430,311
固定負債		
長期借入金	2,805,000	2,295,000
繰延税金負債	160,210	132,991
固定負債合計	2,965,210	2,427,991
負債合計	11,431,715	10,858,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,901,359	1,901,359
資本剰余金	1,900,859	1,900,859
利益剰余金	3,501,267	3,850,539
自己株式	△350,242	△343,478
株主資本合計	6,953,242	7,309,279
新株予約権	—	863
純資産合計	6,953,242	7,310,142
負債純資産合計	18,384,958	18,168,446

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	9,427,984	9,467,721
売上原価	6,132,776	6,156,878
売上総利益	3,295,208	3,310,843
販売費及び一般管理費	2,561,978	2,438,572
営業利益	733,230	872,270
営業外収益		
受取利息	11	16
受取配当金	107	127
受取返戻金	1,452	1,254
その他	311	287
営業外収益合計	1,882	1,685
営業外費用		
支払利息	26,662	24,174
融資手数料	2,611	2,617
その他	393	1,841
営業外費用合計	29,667	28,633
経常利益	705,444	845,322
税金等調整前中間純利益	705,444	845,322
法人税、住民税及び事業税	364,700	404,045
法人税等合計	364,700	404,045
中間純利益	340,744	441,276
親会社株主に帰属する中間純利益	340,744	441,276

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	340,744	441,276
中間包括利益	340,744	441,276
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	340,744	441,276

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	705,444	845,322
減価償却費	213,238	200,250
のれん償却額	295,324	295,324
支払利息	26,662	24,174
融資手数料	2,611	2,617
売上債権の増減額(△は増加)	361,743	94,867
立替金の増減額(△は増加)	△19	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△351,418	△24,309
未払金の増減額(△は減少)	△49,781	△15,812
未払費用の増減額(△は減少)	△15,035	7,392
契約負債の増減額(△は減少)	△54,074	△6,177
返金負債の増減額(△は減少)	△164,829	△59,478
未払又は未収消費税等の増減額	△121,508	87,616
その他	△2,059	△45,271
小計	846,300	1,406,516
利息及び配当金の受取額	119	144
利息の支払額	△26,815	△24,209
法人税等の支払額	△329,325	△378,449
営業活動によるキャッシュ・フロー	490,279	1,004,001
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,414	△8,415
無形固定資産の取得による支出	△74,661	△82,367
その他	59	177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,016	△90,606
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△510,000	△510,000
融資手数料の支払による支出	△2,611	△2,617
株式の発行による収入	6,115	—
配当金の支払額	△71,584	△90,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	△578,080	△602,936
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△170,818	310,458
現金及び現金同等物の期首残高	4,217,980	4,825,497
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,047,162	5,135,956

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年3月28日 定時株主総会	普通株式	90,439	15.00	2023年12月31日	2024年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2024年3月28日開催の取締役会決議に基づき、2024年4月26日付で、当社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式4,533株の処分を行いました。この結果、当中間連結会計期間において利益剰余金が1,565千円、自己株式が6,764千円減少し、当中間連結会計期間末において利益剰余金が3,850,539千円、自己株式が343,478千円となっております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	プラットフォーム セグメント	コンテンツ セグメント	計		
売上高					
自社配信	5,828,576	—	5,828,576	—	5,828,576
他社配信	200,956	2,102,796	2,303,753	—	2,303,753
紙出版	—	896,970	896,970	—	896,970
その他	178,229	220,455	398,684	—	398,684
顧客との契約から生じる収益	6,207,762	3,220,222	9,427,984	—	9,427,984
外部顧客への売上高	6,207,762	3,220,222	9,427,984	—	9,427,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	545	71,809	72,355	△72,355	—
計	6,208,308	3,292,031	9,500,339	△72,355	9,427,984
セグメント利益	241,477	491,482	732,960	269	733,230

(注) 1. セグメント利益の調整額269千円は、全社費用及びセグメント間取引相殺消去額であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	プラットフォーム セグメント	コンテンツ セグメント	計		
売上高					
自社配信	5,713,507	—	5,713,507	—	5,713,507
他社配信	189,503	2,359,807	2,549,311	—	2,549,311
紙出版	—	744,018	744,018	—	744,018
その他	214,328	246,555	460,884	—	460,884
顧客との契約から生じる収益	6,117,339	3,350,381	9,467,721	—	9,467,721
外部顧客への売上高	6,117,339	3,350,381	9,467,721	—	9,467,721
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,433	95,142	96,575	△96,575	—
計	6,118,773	3,445,523	9,564,296	△96,575	9,467,721
セグメント利益	274,335	597,634	871,969	301	872,270

(注) 1. セグメント利益の調整額301千円は、全社費用及びセグメント間取引相殺消去額であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、2024年8月14日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行し、資本効率の向上を図るとともに、現在の財務状況及び株式市場の動向を総合的に勘案し、自己株式取得を実施するものであります。

2. 取得の内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 700,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 11.6%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 700,000,000円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2024年8月15日～2025年8月14日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |